

2018 広島青空式典に送る連帯メッセージ

黒い雨の降る死の空ではなく、希望と生命のあふれる青い空を祈っています。2016 年末～2017 年初め、韓国で広がった 1700 万人のロウソク抗争で政権が交替しました。その結果、南北間交流が復活して 2018 年の歴史的な 4.27 板門店宣言がありました。一方、一触即発の戦争危機にまで至った朝米は、去る 6 月 12 日シンガポールで朝鮮半島非核化を宣言しました。第 2 次世界大戦の終戦と朝鮮半島が分断されて以降 73 年ぶりに、戦争と対決を中断し平和を定着させるための対話が始まりました。

73 年前、広島の上空には無謀な帝国主義戦争の結果、人類最初に核爆弾が投下され、数多くの人々が命を失いました。生き残った人々の苦痛は 2,3 世に至るまで続いています。今地球上には数多くの核兵器が存在しており、追加的な核実験も続いています。スリーマイル、チェルノブイリと福島原発爆発事故の後にも、原発は閉鎖されずに建設され続けています。核実験と原発稼働で自然と生態系が破壊され、数多くの人々が被爆させられています。原発の稼働後に発生する核のゴミは 10 万年経たないと危険性が無くならないというのに、今も溜まり続けています。

ロウソク政府を自認する文在寅政権は、「脱原発」を掲げましたが、2080 年までは原発を稼働するという矛盾した原発政策を行っています。安倍政権は、2011 年福島原発爆発事故以降、中断されていた原発を継続的に再稼働しようとしています。日本と韓国両国は原発を海外に輸出しています。73 年前の広島原爆の被害はもちろんのこと、7 年前の福島原発爆発事故からも相変らず教訓を得ることができないでいます。日本の「原子力村」と韓国の「原発マフィア」らは、核の災いの危険と被爆者の苦痛よりも、自分たちの利益にだけ血眼になっています。

朝鮮戦争停戦(休戦) 65 周年だった去る 7 月 27 日、AWC はソウルと東京で共同記者会見を行い、朝鮮半島非核化を越えて全地球的非核化を実現せよと要求しました。特定の国家だけが核兵器保有を認めた核拡散禁止条約(NPT)を破棄し、2017 年 7 月 7 日国連が制定した核兵器禁止条約(TPNW)を署名批准することと、特に米国とロシアが核兵器縮小を早期に履行して核兵器のない地球作りの先頭に立てと促しました。

8.6 青空式典の「No more 広島! No more 長崎!」を支持します。安倍政権は、帝国主義侵略戦争の野心を抱いた安保法を廃棄し、平和憲法 9 条の改悪の試みを中止しなければなりません。原発再稼働と上関原発建設の試みを中断し、原発稼働後のプルトニウム抽出を通じた核兵器製造の野心も中止せねばなりません。朝鮮半島では、今、

韓米軍事演習が中断されました。しかし日米軍事演習は続いています。戦争演習を中断し、軍備を縮小して労働者民衆の福祉を向上させなければなりません、

8月6日広島平和公園で開かれる「被爆2世・学生・労働者・障害者など市民の手による反戦・反核・反原発・被爆者解放のための集会」に連帯メッセージを送ります。韓国、ソウルでも広島・長崎原爆投下73周年をむかえてAWC韓国委員会などが参加する「核廃棄のための全国ネットワーク(準)」が、『すべての核のない、戦争のない平和な世界を始めよう!』というテーマで記者会見を開催します。以下のスローガンで、8.6青空式典行事に連帯と支持を送ります、

-私たちの主張

1. ノーモア広島！ノーモア長崎！
2. 日本政府はアジアの戦争被害者に謝罪と補償をせよ!
3. すべての核を廃棄し、平和の時代を実現しよう!
4. 今すぐ原発を閉鎖し、輸出を中断せよ！
5. サードを撤去し、すべての核兵器を廃棄せよ!
6. 朝鮮半島非核化を越えて全地球的な非核化へ!
7. 休戦65周年！今や終戦宣言と平和協定締結へ！
8. 朝鮮半島非核化は核兵器と原発を同時廃棄せよ！
9. 地球上のすべての帝国主義軍隊を撤収せよ!
10. 日本の安倍は平和憲法9条改悪の試みを中断せよ!
11. 朝鮮半島非核化は、北の核廃棄と韓国の米軍戦術核の同時廃棄だ!
12. 非核化時代に核武装=核再処理実験は絶対反対!
13. すべての核廃棄！核と戦争のない平和な世の中を作ろう!
14. 核爆弾=原発！ No more nuclear!
15. アメリカは広島、長崎への原爆投下を謝罪せよ！

2018.8.6.
AWC 韓国委員会

8.6 青空式典への韓国青年からの連帯メッセージ

韓国社会では新たな平和の局面が開かれています。4月の南北首脳会談から始まって朝米首脳会談、豊溪里(ブンゲリ)核実験場の廃棄までの手続きが休みなく進行しています。この過程で最も中心的に語られたキーワードは、『非核化』でした。非核化についての具体的なプランに対する討論が活発に行われ、平和を望む市民の声もまた高まりました。

にもかかわらず、相変わらず韓国・星州(ソンジュ)のソソン里にはサードが配備されています。軍縮ははるか遠く思え、軍需産業は日々拡張しています。

20世紀から続いてきた全面核戦争の恐怖を、今こそ終わらせるべきです。1980年代初めから登場した新たな冷戦時代の中で新たなミサイル防御体系が登場しており、ネオコンはイランを相手に核兵器を使うべきだという主張をするまでに至りました。イランと米国間の核協定は破棄され、非核化の時代を叫ぶ声の中でも兵器は絶えず導入されます。

災いを恒久的に防ぐには、全世界的な非核化協定にしなければなりません。韓国社会における非核化の議論が、このスタート地点を切り開くことを希望します。

また、非核化は脱核であるはずですが、韓国の文在寅(ムン・ジェイン)政権は「脱核」を約束して大統領になったのですが、実際の歩みはそれとは正反対です。最も原発が密集している釜山(プサン)に新古里(シンゴリ)5,6号機を新設し、核の歴史を2080年まで延長しました。使用済燃料の再処理事業には、すでに6764億ウォンが投入されました。日本の高速増殖炉「もんじゅ」が失敗を繰り返したように、核再処理事業は何の安全性も経済性も担保できない事業です。また、使用済核燃料を管理する韓国原子力研究院では、核施設から出た核廃棄物を紛失したり、大量の金属を屑鉄として売るなど、ぞっとするような事件・事故と不正が起きています。また文在寅大統領は、アラブ首長国連邦に輸出した「バラカ原発が誇らしい」と語るなど、相変わらず核産業を経済成長のための主要事業だとみなしています。保守マスコミでは、これまでにない猛暑や、台湾のブラックアウト(大停電)などを口実に、原発をさらに強化することを宣伝しています。

しかし私たちは、これ以上後退することはできません。73年前の広島で私たちが直面した問いは、「人間はともに生きていくことを望むか」という問いでした。私たちは核

の平和利用など無いことを知っています。核兵器も、原発も、人間ではなく資本の側に、不当な権力の側に立ってきたという事実を知っています。また、私たちは良い核はないという事実を知っています。北朝鮮の核だけでなく、韓国の、アメリカの、日本の、全世界のすべての核が全部無くなるのが真の非核化であることを知っています。

核のない青空のために、毎年努力して下さる日本の反核活動家の皆さんに、尊敬を込めたご挨拶を送ります。韓国でも 2013 年から 2016 年まで青年緑ネットワークと青年政治共同体「ノモ」を中心に青空共同行動を進めてきました。韓国では、「非核化」という言葉の外側に依然として潜んでいる核産業と兵器産業に反対し、全国核廃棄ネットワークを作って集団的な動きを企画しています。核の歴史が始まった今日の日に、韓国でもともに反核を叫びます。

青年政治共同体「ノモ」 共同代表 シン・ミンジュ
青年政治共同体「ノモ」 共同代表、青年緑ネットワーク執行委員長 ヤン・ジヘ

